

A R E C プラザ 第 106 回 リレー講演会

信州大学テニユアトラック



日時：2009年11月19日(木) 15:00~18:00

終了後、交流会 [参加費：無料]

場所：AREC (上田市産学官連携支援施設) 4階

(上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 TEL: 0268-21-4377)

講演 1

15:00~16:00

演題 『自律型無人航空機の現状と展望』

講師：信州大学 ファイバ・ナノテック国際若手研究者育成拠点(上田キャンパス) 特任助教 鈴木 智 氏

概要 無人航空機とは、人間の操縦士が搭乗せずに制御または遠隔操縦によって飛行可能な航空機の総称であり、商用や軍用を問わず様々な分野への応用が期待されている。本講演ではそういった無人航空機の現状として、世界最先端の研究 運用事例を紹介すると共に、私自身の無人航空機に関する研究について説明する。また、今後産業界にも大いに普及していくと予想される無人航空機の将来的展望と課題について、自身の考えを交えながら述べる。

講演 2

16:00~17:00

演題 『界面化学的アプローチによるナノ材料の構築』

講師：信州大学 ファイバ・ナノテック国際若手研究者育成拠点(長野キャンパス) 特任助教 酒井 俊郎 氏

概要 自然界、生体内に存在する液体の大半は、分子集合体や液滴、固体粒子が分散したコロイド分散液である。これは、自然界や生体内に存在する両親媒性分子・高分子が、巧みに作用していることを意味している。そのような両親媒性分子・高分子のもつ特性(自己組織化・吸着など)は、ナノ・マイクロスケール材料創製においても重要な役割を担っている。そのような両親媒性分子・高分子(界面活性剤やブロックコポリマー)を用いて、湿式、特に水系でのナノ・マイクロ高次元複合材料の合成・制御に取り組んでいる。本講演では、液体のナノ材料と言えるエマルション、そのエマルションを利用したポリマー粒子合成、両親媒性高分子を還元剤・保護剤・形状誘導剤として使用した金属ナノ粒子の湿式合成、メソポーラス結晶性チタニアの低温水系合成などについて紹介する。

講演 3

17:00~18:00

演題 『人の温熱快適性と暖冷房計画』

講師：信州大学 ファイバ・ナノテック国際若手研究者育成拠点(上田キャンパス) 特任助教 佐古井 智紀 氏

概要 今後の暖冷房システムを考えていく上で、温度差を必要としない調節法としての着衣や気流の活用、そしてタスク・アンド・アンビエント空調など、居住者周辺を集中して暖め、または冷やすといったシステムの利用が求められる。ここでは、部屋全体の気温や湿度を調節する従来方式とは異なる、新しい暖冷房システムを計画する上で考慮していくべき現象を紹介する。

お申込先

AREC プラザ宛 メール (mousikomi@arecplaza.jp) または FAX (0268-21-4382) でお申込み下さい。

AREC プラザ 第 106 回リレー講演会 参加申込書		[平成 21 年 11 月 19 日(木)]	
企業名			
参加者名			
所属・役職	メールアドレス		
電話番号	ファックス番号		

ご記入いただいた個人情報(御社名・所属/役職・氏名)は参加者名簿として、講演会参加者の方々に配布する予定です。